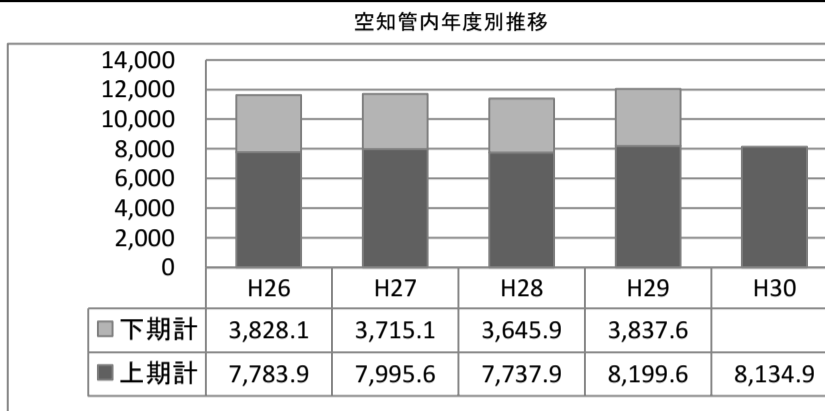


# 平成30年度上期空知管内における観光入込客数調査結果の概要

平成30年12月27日  
空知総合振興局商工労働観光課  
※調査対象期間は、H30. 4月～9月です。

## 1. 平成30年度上期管内観光入込客数

平成30年度上期の空知管内における観光入込客数は、8,134,900人となり、前年同期の8,199,600人から、64,700人(▲0.8%)減少した。



(単位:千人)

項目	H26	H27	H28	H29	H29上期	H30上期	対前年同期増減	対前年同期比	構成比
入込客数	11,612.0	11,710.7	11,383.8	12,037.2	8,199.6	8,134.9	▲ 64.7	99.2%	-
うち 道外客	816.3	822.4	758.0	986.9	728.5	688.4	▲ 40.1	94.5%	62.0%
うち 道内客	10,795.7	10,888.3	10,625.8	11,050.3	7,471.1	7,446.5	▲ 24.6	99.7%	38.0%
うち 日帰り客	11,136.3	11,216.8	10,901.5	11,562.6	7,907.4	7,844.4	▲ 63.0	99.2%	97.4%
うち 宿泊客	475.7	493.9	482.3	474.6	292.2	290.5	▲ 1.7	99.4%	2.6%
全道シェア	8.70%	8.32%	8.07%	8.26%	8.82%				
全道入込客数	133,406.4	140,790.6	140,992.7	145,758.9	92,956.1	-	-	-	-

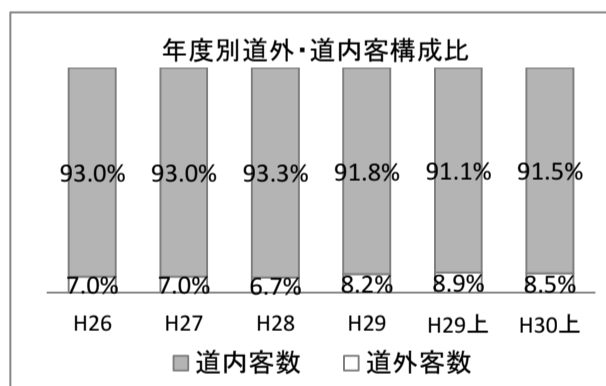
※H30上期全道分は集計中

### (1) 道外・道内客数別

道外客数は、688,400人で、前年同期と比べて、40,100人(▲5.5%)減少した。

道内客数は7,446,500人で前年同期と比べて、24,600人(▲0.3%)減少した。

構成比で見ると、道外客数は8.5%、道内客数は91.5%となっており、道内客が主体となっている。

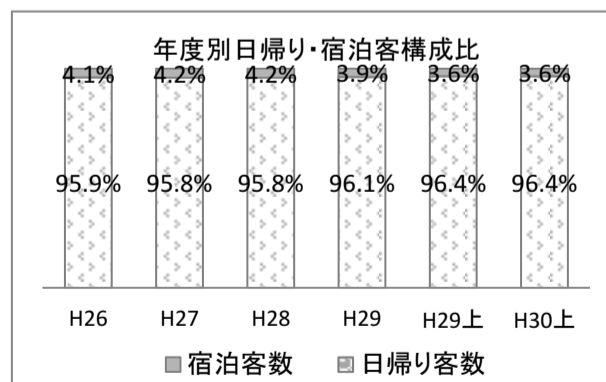


### (2) 日帰り・宿泊客数別

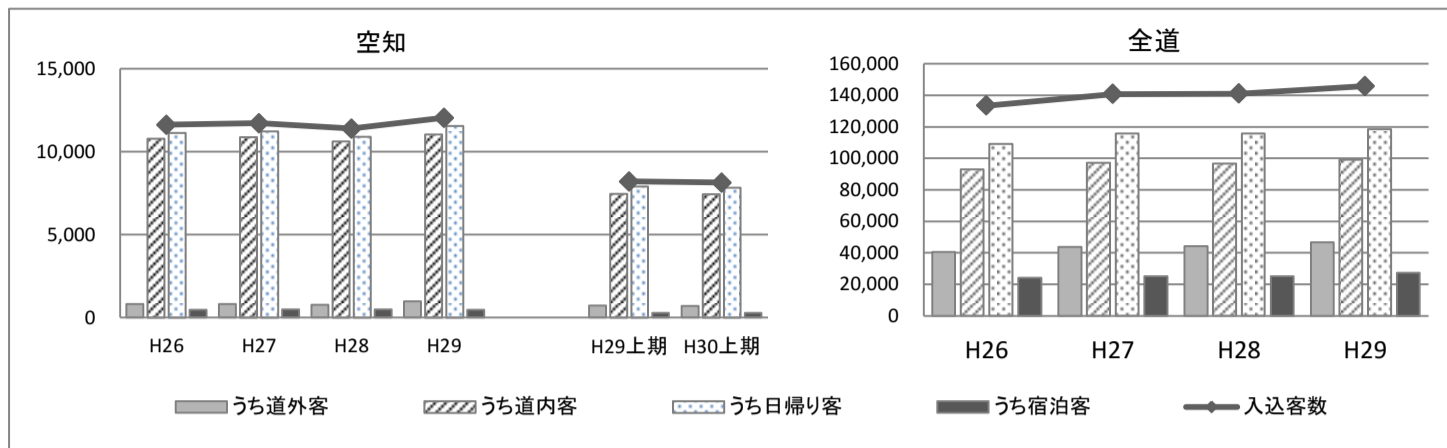
日帰り客数は、7,844,400人で前年同期と比べて、63,000人(▲0.8%)減少した。

宿泊客数は、290,500人で、前年同期と比べて、1,700人(▲0.6%)減少した。

構成比で見ると、日帰り客数は96.4%、宿泊客数は3.6%となっており、日帰り客が主体となっている。



## 2. まとめ



※H30上期全道分は集計中

- 30年度上期の管内の観光入込客数は、前年同期と比べると0.8%減少した。
- 期間中、一部天候不良による影響はあったものの、「観光施設」などの新規オープンやリニューアルオープンなどによって、観光入込客数は順調に推移していた。しかし、北海道胆振東部地震の発生により、集客力のあるイベントが中止となったことなどから、総体としては、やや減少したものと考えられる。

## 3. 参考

### 観光入込客数上位3市町

	市町名	入込客数 (千人)	増減率 (対前年同期)	主な増減理由
1	砂川市	1,044.5	10.8%	「砂川ハイウェイオアシス館」が、昨年のリニューアルオープンの効果継続によって、利用者が増加していることが増加要因としてあげられる。
2	三笠市	933.6	10.6%	「三笠北海盆踊り」が悪天候のため一部中止となったことでイベントの入込数が減少した一方、新規オープンした「三笠高校生レストラン」や、特別展が好評であった「三笠市立博物館」において、利用者が増加したことが増加要因としてあげられる。
3	岩見沢市	768.1	▲8.3%	GW後半の天候不順などにより客足が遠のいたほか、台風の影響による「くりさわ農業祭」の中止や北海道胆振東部地震の影響による「いわみざわ百餅祭り」の中止が減少要因としてあげられる。